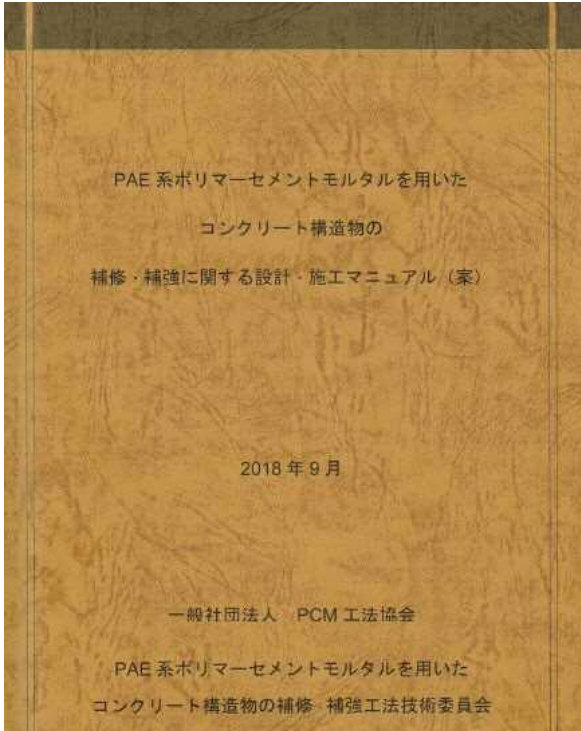



ポリマーセメントモルタル（PCM）を用いたコンクリート構造物の補強技術

分類コード	(工法(システム)・機器・材料)		
関連分類コード			
事例集リンク	(有 (無))		
問合せ先	会社名	一般社団法人 PCM 工法協会	T E L 03-6402-3947
	部署		F A X 03-6402-3945
	住所	〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 12 階(前田工織内)	
	E-mail・URL	E-mail : m_ookubo@mdk.co.jp	URL : http://www.a-pcmm.jp/
内容	対象構造物	橋梁、トンネル、河川・水利構造物など鉄筋コンクリート構造物	
	項目	鉄筋コンクリートの補修・補強工法	
	使用機器	モルタルミキサ、モルタルポンプ、吹付け機械など	
使用実績	NEXCO, 国交省, 地方自治体, 農水省, 水資源機構, 電力会社など		
	PSR 工法 : 1994 年~, PP 工法 : 2000 年~, PT 工法 : 2000 年~ 1,000 件以上		
<p>PCM 工法協会では、ポリマーセメントモルタルによるコンクリート構造物の補修・補強工法の普及を図るため、同工法の設計・施工マニュアルの編集に注力している。今回は、このマニュアルを中心に技術のポイントについて紹介する。</p> <p><b>【工法概要】</b></p> <p>本マニュアルは、PAE 系ポリマーセメントモルタル(以下、SPCM)を用いた鉄筋コンクリート構造物の補修・補強に関する設計施工マニュアルである。ここでは、現場において SPCM によって増厚あるいは巻立てる場合を対象としている。</p> <p><b>【経緯】</b></p> <p>2012.4 第 1 版を発刊 ↓ (試験結果の拡充・ニーズを反映) 2018.9 第 5 版を発刊 これまで : 13,000 部</p> <p><b>【技術委員会】</b></p> <p>顧問 : 松井 繁之 (大阪大学 名誉教授) 顧問 : 豊福 俊泰 (九州産業大学 名誉教授) 委員長 : 東山 浩士 (近畿大学 教授) 副委員長 : 水越 睦視 (神戸市立高専 教授)</p> <p>(裏面に続く)</p>			
			
			
<p>一般社団法人 PCM 工法協会</p>			

【施工手順・実績】

橋脚耐震補強工法(PP工法)の施工フローを示す。



コアボーリング



バキュームブラスト



下塗工 (タイプ I)



鉄筋組立工



湿式吹付施工



吹付機械(ミキサ, ポンプ)



養生工(完了)



左官施工



ハンドミキサ

増厚工 (タイプ II)

工法名	PP 工法	PSR 工法	PT 工法
対象	橋脚・水門	床版・函渠	トンネル・導水路
NETIS	KT-980187-VE	QS-980191-VR	—
ARIC	1145	1142	1143



参考文献(発表論文)

—

特 許 取 得

・有

・**無**

・出願中

資料作成日

2019年6月